



ハワイ便り

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・ハワイで過ごすアクティブライフ！

発行：ハワイシニアライフ協会 (HISLEA)

Hawaii Senior Life Enrichment Association

info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808) 428-5808 Fax: (808) 396-1140 P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

2012年6月号 (Vol.56)

金冠日食

5月21日の金冠日食の中心線が茨城県の我が家の近くを通るということで、前日から妹や弟が集まり、当日朝5時に起きて霞ヶ浦の湖畔にある公園に行きました。起きた時はかなり雲が厚く見れるかどうか少々心配だったのですが、6時を過ぎると雲が流れだし、時々朝日に輝いて空も顔を出すようになりました。金冠日食の7月35分前後は薄曇りだったのですが、雲がフィルター代わりになりきれいに光の輪を見ることができました。

日本在住の方はテレビで見あきっているかもしれませんが、私の小さなデジタルカメラでも結構きれいに撮れましたのでご覧ください。(石毛)



ホノルル支部発足

鈴木栄一さん (支部長)

HISLEA ダルマに両目が！日本からハワイにこられる多くのシニアに、アロハの心を伝えようと願ってスタートしたシニアライフ協会(HISLEA)が創立5周年を迎え、もう一つの新しい顔としてのホノルル支部を発足することになりました。その顔とは、HISLEA 本部の地元でもあるホノルル市郡部の日本人コミュニティーをターゲットとして、その様々な課題に 대응しようとするものに他なりません。ホノルル支部のミッションの3本柱は一に HISLEA 会員の交流親睦、二にチャリティー活動、三に地元ホノルル社会への貢献であり、支部の発足によって芽生えかけていた萌芽が本格的な実を結ぶことを可能にしてくれました。それにより、HISLEA は当然、地元社会と強固な絆で結ばれことになり、地元で愛される HISLEA として大きく成長することが出来ます。この支部の働きを進めていくための役員として支部長 鈴木栄一、副支部長 江口素臣、書記 イング清子、会計 山谷敏夫、さらに幹事として野田省三、布川捷二、和波衛身、山谷正子、中釜ジーン、浅井美和子、中村匠子、ジャフェル啓子、ワシントン智子の諸氏が選ばれ、先ず手始めに今月の「古典落語を楽しむ会」の初日をホノルル支部主催として開催することになりました。この支部の今後の活動に是非ご期待と暖かいご声援をお願いいたします。

プライベートヨットクラブでの昼食会

5月18日(金)

岡田 誠・枝里さん(夫婦終身会員)

ハワイに住む会員と直接会話をすることが出来るヨットクラブでの昼食会は私たち日本人ロングステイヤーにとって大変貴重な情報源となっています。年に2回のハワイ滞在の際には必ずヨットクラブでの昼食会に日程を合わせて渡航するのもそのためです。



清々しい風が吹き抜けるヨットクラブでのおしゃべりではコンドミニウムなど宿泊先の情報や美味しいレストランなどハワイに住んでいるからこそわかる最新情報を現地会員から直接聞けるのが大きな楽しみになっています。また会員同士の笑いの絶えない楽しい会話も魅力。参加を重ねるにつれ顔見知りになった現地会員との再会も楽しみのひとつ。「またハワイに帰ってこれたな～」って実感しま

す。
私たち夫婦が入会した時はまだ30代だったということもあり、シニアと名の付くこの協会に入会してもいいものかどうかと悩みました。後からわかったことですが「シニア」という言葉には日本人が考える「老人」といった意味だけではなく、「人生の先輩、尊敬できる人」といった意味もあるそうです。なるほど、ヨットクラブでおしゃべりさせて頂く素晴らしい先輩たちの笑顔や幸せそうな表情を見ていると「いつかは私たちもハワイで尊敬される先輩になりたいな」と思います。
また次回のハワイ滞在の際もヨットクラブでの昼食会に参加して新しい知り合いをつくり、尊敬できる先輩との再会を楽しみたいと思います。

セミナー「ハワイの不動産投資事情」と情報交換会 5月11日(金) 塚原 勉さん(会員)

私は色々な事に好奇心を持っていて、興味を持ったものは「あれはどうなっているのかなー」これは「どうするのかなー」とあれこれ訊いたり考えたりして、「こうだったのか」と分かることが、なぜか得した気分になるのです。チョット変わってますかねー。そういう訳で、ヒスレアのセミナーには数回参加して得をさせて頂いております。

以前からフリーの新聞や定期刊行物に必ずコンドミニアム等の賃貸・売買情報が掲載されていて流し読み程度でしたが、今回ヒスレア情報に当セミナーがあり、早速申し込みました。

当日は定刻に会場へ入りましたが、既に大勢の方がお見えになって居て、皆さん熱心だなー、と思いました。講師は石原存(たもつ)さんで、サラリーマンを早期退職して現在の仕事(不動産業)に就いた方でした。

話はハワイ旗の話から始まりました。ハワイ旗を作る際強国であったアメリカ・イギリス・フランス三国に気を使って、其々の国旗の要素を取り入れたものが現在のハワイ旗だという事で、成程と納得しました。

不動産の話はパワーポイントを使用しての説明で私にも分かり易く、やはりハワイの不動産は漸次値上がりしているとのでした。更に当然の事ながら情報のアンテナを張って良い業者を選択する事。借地権付きでは期限が来れば返さなければならない・所有権付き物件を選択するのがベターである事、日本とは違ってエスクローが介在する事等々色々例を挙げた説明があって、出席者も真剣に聞き入り質問も多く出て私にとってとても参考になり、勿論得した2時間でした。この企画を実施していただいたヒスレア幹部の皆さま、ありがとうございました。

「ゴルフで楽しむ会」に初参加 5月24日(木) 浅倉信記さん(夫婦家族会員)

5月24日(木) パール・カントリーで開催された定例イベント「ゴルフで楽しむ会」に初めて参加させて頂きました。



当日、4組16名の参加でしたが、初参加者5名、16名の内8名が美貌の女性。地元の方のご配慮で、初参加者に対してもとてもフレンドリーで華やかなコンペになりました。

突然の参加にも関わらず塚原さんには行き帰りの車に同乗させて頂き、一緒に組になった金沢さん、山田さん、お二人の女性からお昼のおにぎりを差し入れて頂き、ハワイに住むシニアライフの方々の親切を沢山頂きました。ニアピンは深田さん、大住さん、金沢さん、佐々木さんがゲット、皆さんとても喜んでいました。会員の皆様はとて心が広く、温かい。次回からも必ず参加します。シニアバンザイ！！

マウイ支部

第21回ゴルフ会 5月27日(日)@ キング・カメハメハ・ゴルフクラブ 神崎洋さん(マウイ支部長)

10名が参加し第21回ゴルフ会が開催されました。ハワイ諸島の北東に張出した勢力の強い高気圧の影響で州全土で1週間程吹き続けた風がこの日も収まらず皆さんスコアメイクに苦しみました。参加2度目の松本和幸さんが前回のスコアを10ストローク縮めて見事初優勝を果しました。今回もホノルルより日帰りで石井恵子さんに参加いただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。来月のゴルフ会は日本からのゴルフ合宿のグループ2組(10名)が参加を予定しておりとても賑やかな大会になりそうです。引き続き奮ってご参加をお願いします。



個人順位：優勝 Mr. Kazuyuki Matsumoto(106/32/74) 2位 Mr. Kenny Kanzaki(85/6/79) 3位 Mr. Yasuhiro Ogasawara(93/14/79) 4位 Mrs. Fuki Kanzaki(113/34/79) 5位 Mr. Hiroshi Joke(101/20/81)

ニアピン賞：#7 Mr. George Kitagawa #10 Mr. Ryuichiro Ishida #17 Mr. Joe Yamawaki

マウイホトギス会(句会)

5月26日(土)

5月26日(土)、カヒリレストランにて「薄暑」と「鳥賊」を兼題にして行われました。特選の中からHISLEA会員の句を下記ご紹介いたします。6月は「たまねぎ」、「短夜」を兼題にして6月23日(土)に開催されます。

湯上がりのビールとうまし薄暑かな(特1) 富貴

月光の透く庭先の白牡丹(特1)(1) サニー

雉子鳩の声新緑を浸しゆく(特1) サニー

5月末会員数:36名。引き続き新会員の紹介を宜しくお願いします。

日本地区

坂井会長を囲む会

5月7日(月)

片山邦夫さん(理事)

坂井会長が4月中旬から5月上旬まで日本に滞在されていたので、プライベートなお時間をいただき、ハワイに帰国直前の5月7日に世話人を中心に会合を持つことが急遽決定し、首都圏支部、千葉支部、そして日本地区本部のメンバー約20名が六本木に集いました。



会長からHISLEA5周年の行動指針の再確認や活動についてのご報告をいただき、また馬場日本地区本部長が本部としての活動の在り方についてお話しされました。

その後、各人が簡単な自己紹介を行いながらの会食が始まり、坂井会長との質疑応答も活発に行われるなど、今夜も時間が経つにつれて大変な盛り上がりとなりました。季節感のある料理や京風の串焼きは、舌の肥えたメンバーの皆様にも好評だったようです。

日本地区本部として8月の2つのイベント計画(JAL羽田整備場見学会「航空教室」と目黒雅叙園での暑気払い会)を報告し、名残りを惜しみつつお開きとなりました。

「富士山に向かって打て」

5月14日(月)

片山邦夫さん(理事)

5月14日、最近HISLEA会員にご登録いただいた東名富士カントリークラブ磐田社長(理事長)の多大なるご厚意により、有志12名によるコース視察を兼ねたコンペを開催しました。

クラブハウスは小高い丘陵の頂上にあり、五月晴れの青空の中に雪をかぶった富士山がドーンと視界に入ってきます。またティーグラウンドからの絶景も一個所や二個所ではありません。「富士山に向かってティーショット」といった醍醐味も何ホールか楽しめ、「富士山を描く画家がこのコースに逗留して作品制作を行った」という話にも納得です。最近はあまり経験の無い?谷越えの雄大な打ちおろし、距離のある上りのパー5や比較的小さめで亀の甲タイプのグリーンなどに一喜一憂しながらも、楽しい1日を過ごしました。



表彰式は各自持ち寄った賞品の中から好きなものを順に選ぶという、エコ(?)スタイルなコンペでしたが、簡単な自己紹介や賞品の説明を行い、大変な盛り上がりを見せてお開きになりました。なお成績はダブルペリアの面白さでしょうか、大ハンディキャップを獲得した武居会員が6人抜きで優勝しました。

またキャディさんから「このコースは11月上旬の紅葉の時期が美しい」との話を伺い、「秋に最挑戦しようか」との話があります。その際には多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第5回関西支部 ゴルフコンペ

5月11日(月)

今泉輝幸さん(会員)

神戸パインウッズ GC にてゲスト参加3名を含み12名のご参加をいただき開催されました。このところ日本各地に竜巻、雷などの甚大な異常気象の被害が相次いでいます。今日も5月でありながら3月末ごろの肌寒い気候の中のプレーでした。幸い雨には合わず楽しくラウンドすることができました。



このコンペに初めて参加させていただき一緒にラウンドしたメンバーの方に恵まれたのか、なんと優勝しちゃいました。メンバーの方たちのハワイ情報を収集しながら本当に楽しいラウンドができました。優勝商品の立派な額縁をいただき、私の副賞のハゲ隠しの帽子は皆に5歳ほど若返るとのご評価をいただき今後大いに愛用します。(写真参照・・・帽子を脱げば見事なハゲです)次回は秋に開催されるとのことです。

それまで7月ハワイで一ヶ月修行してコンペに備えるつもりです。本日は本当にありがとうございました。

ハワイアナ

ミラニ

浅沼正和さん(ビショップ博物館ボランティアガイド)

イオラニ宮殿の正面に「ミラニ」と云う名の通りが在ります。カメハメハ四世と五世の妹であるカマーマル王女の館「ミラニハウス」が在った事から Mililani Street と名付けられました。ミラニ通りとクイーンズ通りの角の小さな公園に大きな石が置

かれ西欧人の肖像が付けられています。米合衆国第二十四代大統領、クリーブランドの像です。1893年1月、リウオカラニ女王が米国への併合派に屈するように王権を放棄し臨時政府が設立されますが、同年3月に再選されたクリーブランドは女王の王権放棄に疑問を持ち調査団をホノルルに送り、ハワイの人々に支持されていない臨時政府も良しとしませんでした。その後ハワイは共和国として存在しますが、1897年にマッキンリーが大統領に就任することにより米国の政策は変化し、1898年8月にハワイ国旗が降ろされ星条旗が掲揚されるに至ります。ミラニ通りは、王国の終焉から米国への移行に至る変遷を見てきた道でもあります。



会員便り / 伝言板

個人情報保護法に基づき、ご本人様の了解なく電話番号、住所、Eメールアドレス等を他の方に開示することはしていません。ハワイ滞在スケジュールを他の会員の方にお知らせしたい方は、この伝言板をご利用ください。

* * * * *

◆4月8日から5月13日まで、Hawaii で過ごし、無事我が家へ…

檜上正人内・智津子さん(夫婦家族会員)

Aloha!

この度初めてハワイシニアライフ協会に入会させていただき、本当に良かったと心より感謝いたしております。

そちらでもお話をした様に、「ハワイ島」で恐ろしい体験をしました。ハーツのレンタカーが、運転中に「炎上」し、英語もしゃべれない私たち夫婦は何の手立てもなく、心が折れそうになったまま、ホノルルへ戻りました。落ち込んだままではいけないと、主人とシニアライフ協会の「ゴルフコンペ」に参加をしたのです。

そこで素晴らしい出会いができたのです。内藤公子さんと、伊保せつこさんとの組み合わせでした。プレーの合間に、ハワイ島での出来事を打ち明けたら、わたくし達以上に心配し激怒してくださいました。

「大丈夫よ、負けたらだめ、謝りにも来ないなんてありえない!」「可愛そうに、大変だったね…。」と。

事件後、誰一人この島にきてそのような言葉をかけてくれませんでした。「ラッキーだったね、怪我がなくて、保険かけてたでしょ?平気よ弁償してくれるから」と同じ言葉でした。何だか心と身体のどこかが、はらはらと緩んで緊張していた自分の力が抜けていきうかつにも、コンペ後のにぎやかなテーブルで、涙をポロポロこぼしてしまいました。塚原さんもその席におられて、「そうなんですかあ〜大変でしたね?よし!我々ののんべえの会に参加しませんか?」とお誘いを。そこでも沢山の方に、出会え話を聞いていただき、泣き虫のわたしにエールを送っていただきました。

マコさん、クッキーさん、だいちゃん、「ウクレギネス…」に誘っていただきありがとうございました。素晴らしい体験でした。それから、内藤公子さん、初めてお会いした翌日にコンドまでお迎えに来ていただき領事館や、警察にレポートを取りに、1日中お手伝いしてくださり、感謝のしようがないほど、お世話になりました。

長文になりましたが、ここにお礼と感謝の言葉を述べずにはおられません。有難うございました。私たちも、またいつか皆様のお役に立てることがあるように心がけたいとこの感謝をわすれません。また来年に、皆様に元気でお会いできることを楽しみにしております。マハロ

◆広島で再開

庄野泰輔さん(名古屋支部長)

皆様、お変わりありませんか?

先週14-17日、広島に出張の際、広島支部の山内支部長や西村さんとお会いして、ゴルフ・食事・懇談と、交流を深めて参りました。山内さんも、脚のケガもほぼ回復されたようでした。また、私の指の打撲もほぼ痛みが消え、プレーに影響はありませんでした。(その節は、大変なご心配とお見舞いを戴き有難うございました)ただ、今回も良い友人とは再会出来ましたが、良いコーチは見つかりませんでした。(=スコアは相変わらずでした)秋には是非、関西地区でのアロハ会を協力して実施したいと話合ったところです。



3月に開催されました JHCE2012・ホノルル美術展(ハワイ便り4月号に詳細掲載)で感動するドラマがありました。会員の方からの投稿を以下ご紹介いたします。

◆崎原幸子さんのこと

山谷敏夫さん(夫婦家族会員)

70歳代なかばで盲目の崎原幸子さん。2012年3月にコンベンション・センターで行なわれたホノルル・フェスティバルの会場で、それらしい人を見かけたのですが、20年以上も疎遠でしたので、人違いかとも思いながら「崎原さんではありません

んか?」「はい、そうです」から、この話は始まります。

1970年代の中頃、ハワイに赴任してきた私は「創業期の苦労」を十分に味わい、時には目まいをするくらい疲労が重なりました。疲労からリカバーするにはいろいろな方法がありますが、私は日本にいる時からマッサージ癖がついていました。でも、新任地では様子が解らず、スウェーデン式マッサージ、肘でゴリゴリのスポーツ・マッサージ、指圧、鍼・灸などなど、いろんな治療所を訪ねました。最後に行き着いたのが幸子さんと、以後「ハワイのお母さん」と内心想いながら、心ゆくまでもみほぐしてもらいました。

後に、幸子さんがドクターGのクリニックに勤め始め、受付や健康サプリメント販売を手伝うようになった頃から私とは縁が切れ、20年以上も経ってしまいました。

幸子さんは自分の小遣いも欲しいので、日本で身につけたマッサージを始めました。いきなり開業というわけにもいきませんので、ワイキキの治療院に勤めていたのが私との接点となりました。

治療院をやめた後は自宅で限られた人たちに治療を続けていました。1990年ごろ旦那さんが他界した後、疲労がたまってきたのか悲しいことが起こりました。視力が衰え始めたのです。「遺伝か、子供の頃の栄養かの原因で失明は避けられない・・・」と眼科医に言われ、日本に居る何人かの兄弟からは「この際帰国しては・・・」との打診もあったとか。幸子さんは失明までの短い間に、2部屋あったマキキのコンドを処分して、1部屋のコンドに引越し、難儀な英語の点字を習得し、あらゆる準備を整えたそうです。「キリスト教に入信した」と風の便りに聞いたのもこの頃です。「過酷な運命にもめげず、何時もほがらかな幸子さん」を守る親衛隊員が何人かいて、スーパーへ、教会へ、散歩へ、とヘルプがを続けられています。

20年ぶりの再会に戻ります。ホノルル・フェスティバルの協賛でHISLEA主催のジャパン・ハワイカルチャーエキスポ会場、陶器作りほかの実演や出展がありました。その中に日米のアマチュア・アーティストの絵画、書道、写真が展示された美術展があり、合計100点以上の作品が所狭しと展示されていました。通路は大勢の人たちで込み合っていました。私から声をかけられた幸子さんは、私も絵も見えないはずですが「これが私の親しくしている9歳の子供が日本から送ってきた絵を、出展し・・・」と入賞するまでの顛末を話し出しました。すぐ横には、子供の祖父にあたるG医師がエスコートしていました。

◆トモヤ君への手紙

君の絵の一フアンより(岩下功さん/理事)

トモヤ君

その後身体の具合はいかがですか。日々よくなっていくことを願っています。現代の医学を信じて毎日を元気に過ごしてください。

ハワイの目の不自由なおばあちゃんに喜んでもらいたい、何とか見せたい一心で描きこんだ虹のヒマワリの絵がHISLEA展で大賞を獲得したことを聞き、わがことのように喜んでます。おばあちゃんが自分に送ってくれた絵を展示して欲しいと持参して来られた時その斬新な発想と色使いに感銘しました。

授賞式には視力が十分でないおばあちゃんをはじめ家族皆が集まり記念すべき日になりましたね。君の絵の受賞を契機としておじいちゃんとおばあちゃんを中心に家族の絆が一層強くなった、と聞きました。

君の絵の力をあらためて感じています。

君がこれから健康な日々を送ることを願っています。

* * * * *

シリーズ — 健康

Dr. 大山の健康アドバイス

「食中毒の原因について」考える

大山廉平さん(会員・顧問)

巷間では、皆様は食中毒って何かご存知でしょうか。一緒に考えて見ましょう。

食中毒とは、人が食物に関連して、口から原因となるべき物質が入ることにより引き起こされる病態と言えます。大きく分類すると、細菌性、ウイルス性、化学性そして自然毒性の食中毒となります。

細菌性食中毒では、最近そのものから産生される毒性物質から起こされる毒素型、感染した細菌が体内で増殖し、病原性を示す感染型とに分けられます。

毒素型の代表は、黄色ブドウ球菌であり、これはヒトの皮膚の常在菌であり、調理者から食品に菌が付着し、繁殖します。感染型では、海水中の常在菌であつ腸炎ビブリオ球菌、梅雨時から夏にかけて多く、海産物に関係することが多い。サルモネラ菌では、卵に関係が深く、鶏肉、卵、卵製品に多く見られる。キャンピロバクターは、牛、豚、鶏などの家畜類の常在菌であり、これらの家畜類の肉、内臓などの生食することによって引き起こされている。病原性大腸菌、ヒトの大腸に常在菌ですが、この中で「病原性」と名がつく菌が問題なのです。あらゆる食品に関係が取りざたされています。ウェルシュ菌、作

りおき製品の加熱、冷凍、解凍の過程で、不活性化されずに生き残った芽胞(細菌の子供と考えてください)が生き返ってくるのです。

ウィルス食中毒では、保育園、幼稚園、老人ホームなどでの集団的発生が多く見られ、ノロウイルス、ロタウイルスによるものが多く、一人の感染から、容易に経口感染を起し、集団での嘔吐、下痢を特徴としている。

化学性食中毒では、ヒスタミンが食物の中に蓄積され、これが体内に入り、化学反応を起こすものであり、サバ、アジ、コハダ、サヨリなどの光物の魚を摂取後によく蕁麻疹の様相を呈し、かゆみ、発赤の皮膚症状が特徴的ですが、時としては呼吸困難を伴う急激な症状を呈することもあります。

忘れてはいけないのが自然毒食中毒です。植物性食中毒の代表格が毒キノコであり、きのこの時期になると必ず報道されます。素人にはキノコ採りは厳禁です。ジャガイモの芽に含まれるソラニンに注意が必要とされます。動物性自然毒では、ふぐ毒が代表であり、テトロドトキシンであり、神経毒として、筋肉の麻痺を起こし、呼吸困難となります。ふぐの調理は免許を持った調理師に限られています。その他の食中毒としては、寄生虫によるアニサキス症であり、食後の急激な腹痛であり、寄生虫が胃腸の腸管壁に食い込むために生じます。小さな寄生虫で、イカ、サケなどに付着しており、生食には注意が必要です。

それでは、食中毒の原因について理解し、食品の取り扱い、調理法などに工夫をして、楽しい食生活に心がけましょう。

(東京都済生会中央病院顧問・東京都済生会渋谷診療所所長)



日本語クリニック「ワイキキ緊急医療クリニック」

堀育史院長

会員証を提示すると、初回無料相談、血圧測定、滞在中のアドバイス、専門医の紹介等を受けられます。

Bank of Hawaii Bldg. 3階 ☎ (808)924-3399

名医による無料健康相談(Eメールによる)

大山廉平ドクター(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

ご希望の方は、①姓名、②会員番号、③返信用Eメールアドレス、④病歴、⑤相談内容を下記メールアドレス宛お送りください。ご本人のみならず、ご家族お知り合いの方、病気が断定できないことでも健康のことでしたらなんでもご相談ください。 oyama@saichu.jp



ご寄付をいただきました。設立5周年記念 特別ファンドレイジング(寄付金募集)

—伝えていこう “アロハの心” ハワイと日本から世界に向けて—

(\$100)加藤孝雄・宏子様、平橋利明・京子様、眞栄城ヒサ子様、(\$50)服部匡伸・真知子様、(\$45)荒紀男・ジュン様
(\$20)蔵田健吾様、(¥100,000)鳥海節夫様、(¥10,000)馬場博人・陽子様、宮原汎様

(2012年4月1日～30日)

ありがとうございました。

Mahalo

(編集担当:インフォメーションコミッティ/石毛克祐)

インフォメーションセンター

場 所: ワイキキビジネスプラザ 11F #1108A (2270 Kalakaua Ave)

電 話: (808)428-5808

電話対応: 毎日 午前9時～午後5時(日本時間:午後2時～午後10時)

イベント申し込み等ご利用ください・事故、病気等緊急の際は24時間電話相談受付(5時以降は緊急相談のみ)

ヒスレア・オアシス お待ち合わせ、懇談にご利用ください。(1回のご利用は、1時間程度でお願いします。)

場 所: c/o Plumeria Lounge ワイキキショッピングプラザ 地下1階「るるぶ」デスク奥 2250 Kalakaua Ave. B1F #LL-111,

利用時間: 毎日午前9時～午後5時

*朝日新聞、ハワイ報知の閲覧、インターネットの利用が無料でご利用いただけます。日本語の図書もあります。

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiisrlife.org をご覧になるか、パンフレットをご請求ください。